

企業広報人の即戦力集中セミナー

vol.10

2016
09
26
mon

毎日新聞の現場記者から学ぶ

スマートフォンの普及やソーシャルメディアの台頭により、メディア環境は大きく変化しています。しかし、スマートフォンを通じた企業情報の発信やmediarelationは、企業広報担当者にとっての基本中の基本であり、広報の基礎体力として身につけておくべきものです。

企業広報担当者にとって比較的ないじみのあるメディアの経済部や生活報道部に加え、いざトラブルが発生した際には対応が必要となる社会部の現場記者から、新聞社の組織や取材態勢、取材の視点、対応時の留意点などについて話していただきます。緊急時のみならず、日頃のmediarelation構築のための参考となる情報満載です。

第1部
13:00

(休憩 10 分)

第2部
14:00

(休憩 15 分)

第3部
15:00

(休憩 10 分)

第4部
16:00

(休憩 15 分)

交流会
17:10



経済部の企業取材とmediarelation

毎日新聞東京本社経済部デスク 柳原 美砂子氏

経済部の取材態勢や取材時の着眼点などを民間担当経験の長い経済部デスクが分かりやすく説明します。記者が求めていることを理解することで、よりよい関係構築の基礎体力を養います。



デジタル媒体の特性からみた企業情報の発信

毎日新聞社デジタルメディア局 経済プレミア編集長兼論説委員 今沢 真氏

現在、スマートフォンやタブレットなどデジタル環境では、経済コンテンツを提供する様々なアプリやサイトが存在しますが、広報パーソンはどのように気をつけて情報発信すればいいのでしょうか。経済ニュースの取材が長く、現在デジタル媒体の編集長を務めている今沢氏が、デジタル媒体での情報発信のコツを教えます。



くらし情報取材への神対応はこれだ！！

毎日新聞東京本社 生活報道部 稲田 佳代氏

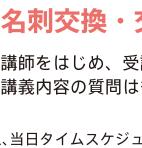
食やすまい、ファッショニ、子育てなど、くらし情報を掲載している生活報道部の記者は、どのようなことに関心を持っているのか、どのように情報を入手するのか、実際に記事が掲載されるまでにどのような工程があるのか。過去の取材で思わず感心した広報担当者の「神対応」や生活報道部の取材態勢や記者の1日の行動パターンなど盛りだくさんでお話しします。



社会部の企業取材とリスクマネジメント

毎日新聞東京本社編集編成局社会部 副部長(デスク) 鮎川 耕史氏

社会部記者からの取材依頼は、会社についてのネガティブな情報について聞く場合が多く、企業広報が最も緊張する場面です。今回の講義では、社会部の取材態勢や取材スタンスを正しく理解し、記者対応時の留意点を知ることで、いざというときのリスクマネジメントに活かします。



名刺交換・交流会(講師・受講者同士)

講師をはじめ、受講者同士のみなさまとの交流会の時間を設けました。

講義内容の質問はもちろん、記者・他社の広報の方々との関係構築の時間にお役立てくださいませ。

※ 講師の都合上、当日タイムスケジュールが変更になる場合がございます。あらかじめ、ご了承頂きます様、宜しくお願ひ申し上げます。

日時：2016年9月26日(月)

13:00～19:00

(受付開始 12:00)

協力： 每日新聞

会場：毎日新聞東京本社地下1階

毎日ホール

(地下鉄東西線 竹橋駅直結)

主催： クロカワ創商

有限会社クロカワ創商

TEL▶03-6433-2150

HP▶www.sousyou.net

※セミナー当日のお問合せは

080-5891-0045(担当：森)

会費：20,000円(税別)

募集：100名様(先着順)

対象：新任・比較的経験の浅い方

会社名、氏名、電話番号、メールアドレスを、下記専用メールへ
seminar@sousyou.net

振込先のご案内が届きます。

毎日新聞の現場記者から学ぶ 企業広報人の即戦力集中セミナー

vol.10

2016.09.26

講師プロフィール



毎日新聞東京本社
経済部デスク

柳原 美砂子氏

福岡県出身。1995年毎日新聞社入社。大分支局、福岡総局経済部を経て2009年から東京本社経済部。日銀や財務省、民間企業を担当し、銀行のシステムトラブルやオリンパス事件などを取材。2016年4月から経済部デスク(民間企業担当)。



毎日新聞社デジタルメディア局
経済プレミア編集長兼論説委員

今沢 真氏

東京都出身。早稲田大法卒。1983年毎日新聞社入社。静岡支局、東京本社整理本部を経て1989年経済部。税・財政や金融政策を担当。銀行、メーカー、流通業を取材する。2013年から論説委員として毎日新聞の社説を執筆。15年6月から現職。2016年「東芝 不正会計底なしの闇」(毎日新聞出版)を出版。城西大非常勤講師のほか、日大経済学部などで教壇に立つ。



毎日新聞東京本社
生活報道部

稻田 佳代氏

兵庫県出身。2005年毎日新聞社入社。支局時代から介護や生活保護などの福祉制度に関心を持って取材してきた。前任の社会部では産休育休を挟んで実質2年ほど就職活動の連載を担当。人事の本音を聞かせてもらったり、雇用の問題を学んだりしながら、学生の役に立つ情報発信に取り組んだ。



毎日新聞東京本社編集編成局社会部
副部長(デスク)

鯛川 耕史氏

大阪府出身。1992年毎日新聞入社。社会部で警察関係の取材経験が長く、警視庁担当時代は世田谷一家殺人事件や歌舞伎町ビル火災などを取材した。現在はデスクとして事件や皇室を担当。

受講者の声

記者とのコミュニケーションの重要さが良く分かりました。また、ネットニュースに対しての現状、新聞社の取り組みも聞けて、リリース時の参考になりました。(情報処理業)

実際に記事を書いている記者の生の声が聞けて良かった。観念的、理論的な講演でなく、よりリアルなセミナーでした。(旅行業)

飛び込みの電話でも担当にお繋ぎする文化ですとおしゃっていたことなど、とてもハートを下げていただきました。今までのセミナーに比べ、すぐに現場で役立つ情報をたくさんいただけたと感じています。(サービス業)

セミナー申込方法

- 1 セミナー名、会社名、氏名、住所、電話、メールアドレス、このセミナーに期待する事を明記の上、seminar@sousyou.netまでメールでお申込みください。
※クロカワ創商のHPからも、ご申込み可能です。
- 2 クロカワ創商からの返信メールで お振込み口座をご連絡いたします。郵便にてご請求書を発送させていただきます。
- 3 口座への入金を確認次第、当日の受講券をPDFにてメール送信いたします。
- 4 セミナー当日は PDF をプリントアウトの上、お名刺を添えて会場受付にお渡しください。

セミナー定員は 100 名様となっています。ご参加お申込みは、お一人様毎となっていきます。1 社で複数名お申込みの場合は、受講される方全員のお名前を明記願います。

※個人情報のお取り扱いについて
お預かりした個人情報は、セミナーの実施・運営(事前アンケートの解析・セミナー参加者名簿の作成・事後アンケートの集計およびこれらのデータの管理、参加費の入金管理等)ならびに本セミナー、研修関係の資料や情報提供等、セミナーに関する範囲に限った利用を行い、その他の目的には利用致しません。